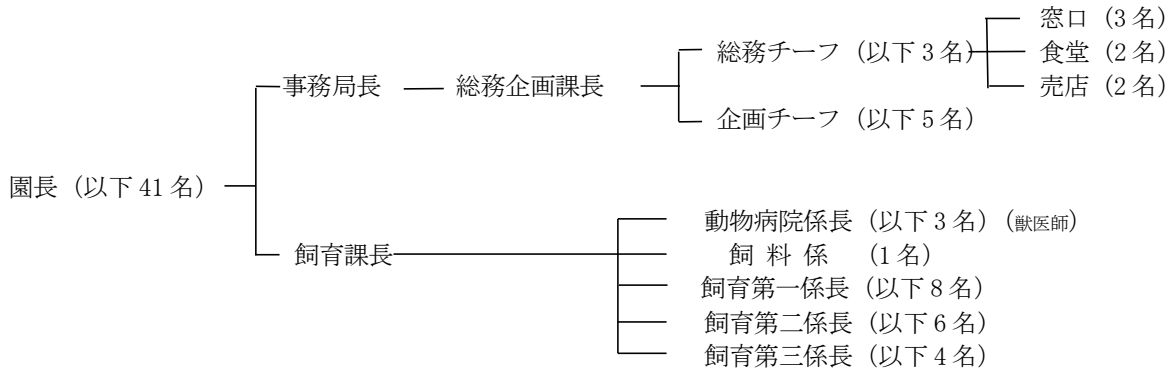


(公財) 高知県のいち動物公園協会について

1 組織の概要

【組織体制】

理事長 — 副理事長 — 理事 (3名) — 監事 (2名)



	園長	事務局長	総務企画課	飼育課	合計
正職員	1	1	5	19	26
嘱託・契約職員			11	4	15
計	1	1	16	23	41

【運営経費】(R6年度)

○経常収益計 541,584 千円

・管理代行料 (433,852) ・入園料等 (37,164) ・便益事業 (64,225) ・その他 (6,343)

○経常費用計 542,436 千円

・人件費 (270,133) ・管理費 (272,303) ※経常費用のうち便益事業分 (58,895)

※管理費には、特定費用準備資金で実施した修繕費を含む

2 高知県立のいち動物公園の特色

◇基本理念:「人も動物もいきいきと」

自然豊かな環境の中でいきいきとした動物たちを観覧しながら楽しみ、遊び、学べる場所。

◇県民の健康の増進と教育・福祉の向上を目的とする本格的な動物公園

子どもたちや家族連れはもちろんのこと、高齢者や障がい者、さらに外国の方など来園者全てが等しく動物公園を利用しサービスを楽しむことができる場所。

◇公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）加盟施設として、

⇒絶滅危惧種の繁殖や遺伝的多様性の維持を通じて未来世代に生物を残す「種の保存」

⇒来園者が動物の姿や鳴き声、匂いを直接体験することで、自然や生態系への理解を深める機会を提供する「環境教育」

⇒飼育動物の生態や繁殖に関する研究を行い、動物福祉の向上や野生復帰の基盤を築く「調査研究」という3つの役割も担う。

※生物多様性の保全

- ・マレーグマの生息域外保全活動としてマレーシアにあるボルネオマレーグマ保護センター（BSBCC）と2024年に友好協定のMOUを締結。
- ・同様に東南アジアに生息する動物の保全活動として台湾の台北市立動物園と2025年に友好協定のMOUを締結。

3 現状の取り組み

入園者数

- ・入園料：大人470円 団体・割引370円 年間入園券1,570円

※18歳未満・高齢者（65歳以上）等は無料

- ・年間入園者約20万人のうち、無料入園者（18歳未満や高齢者など）が約6割。
- ・来園者は、休日などの行楽を兼ねた家族連れが中心。

※GW期間中の県外からの入園者（県外車両の割合）は、約6割。（四国3県が約6割）

主な取組（R6年度）

【年間行事】

- ・夜の動物公園「のいち de ナイト」、難病や障がいがある子ども達を招待する「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」、開園記念日イベント、お正月やクリスマスなどの年中行事に合わせたイベントなど、家族全員で楽しんでもらえるイベントを開催。（年間48行事）

【企画展】

- ・「夏休み特別企画展」やBSBCCの生息域内保全活動や当園の取り組み等を紹介する「ボルネオの森とマレーグマ展～のいちとボルネオをつなぐ～」の開催。
- ・定例の写真及び写生のコンテスト作品展、各学校や団体など地域との連携による企画展。
(開催は延べ12回、通算470日間)

【教育活動】

- ・幼児～中学生を対象に職員がモルモットについて解説する教育プログラム
(もっと！知りたいモルモット 受入数：8件184名)
- ・動物解説や施設見学など、要望に応じた団体レクチャー(受入数：46件1,697名)
- ・職員が学校に出向いて講義や講習を行う出前授業(受入数：2件34名)
- ・地元小学校と連携したイベントや中学生の職場体験学習の受け入れ
- ・学芸員資格取得のための博物館実習及び大学生・専門学校等の飼育実習と獣医実習。
- ・教育用標本、教育用ビデオ貸出

4 課題

持続的な動物の確保

- ・世界的な野生動物の減少や飼育下繁殖率の低下、及び新疾病の発生、さらに倫理観の変化による様々な法規制の強化もあり、動物自体が減少し流通量も激減。
- ・それにより、これまで動物園動物を取り扱っていた業者の廃業も相次ぎ、将来にわたって展示動物を確保することが非常に困難な状況。

施設の老朽化

- ・第一次開園より30年以上が経過し園内の至る所で老朽化が著しく、毎年2,000万円程度(県の直接修繕を除く)の修繕費が必要。
(R4：24,012千円、R5：18,976千円、R6：16,728千円)
- ・指定管理の契約では1件あたり100万円未満の修繕は、当協会が行うこととなっている。

駐車場対策

- ・普通車：約280台、バス10台を整備しているが、(表1)に記載のように当園は他施設と比べて駐車台数が少ない。

- ・正月やGWの繁忙期、人気コンテンツである「のいちdeナイト」開催時には収容しきれない状況となるため、近隣の県立青少年センターやフジグランを臨時駐車場として借り受けてシャトルバスを運行して対応しているが、バスの借り上げや警備員の費用が嵩んでいる。

- ・R7 5/3～5日：入園者 12,316人 入園料収入 2,479千円 支出経費 4,456千円
- ・夜の動物公園（3回）：入園者 8,135人 入園料収入 1,357千円 支出経費 3,369千円

5 今後の取り組み

【課題への対応】

新たな動物の確保

- ・海外施設との連携強化（※）に加え、飼育管理技術の向上に伴って現所有個体での繁殖を目指し、累代飼育繁殖の継続や国内施設との動物交換等の協働により確保していく。
- ・また、国内のみならず海外まで視野に入れた動物の貸借（BL）計画を策定予定。
- ・飼育展示する動物種については、JAZAが掲げる収集計画（JCP）を基軸として2024年に策定された「のいち動物公園の収集計画（NCP）」に基づくこととなるが、マンネリ化を防ぐためにも国内及び世界の状況に応じて柔軟に対応する必要。

※海外の動物園との連携

- ・2024年2月にボルネオマレーグマ保護センター（マレーシア）、2025年7月に台北市立動物園（台湾）と友好協定のMOUを締結。
- ・前述したように展示動物の確保や飼育技術の向上、及び園としての大きなPRにもなるため、今後も積極的に交流を継続する。
- ・特に台北市立動物園には来年度中に研修のため職員を派遣する予定。

施設の改修

- ・2024年4月に県が策定した「野市総合公園再整備計画」、長寿命化計画に基づき、県と協議しながら老朽化の状況に応じて順次改修工事を進めていく。
- ・併せて、世界的なムーブとなっているアニマルウェルフェアへ配慮したJAZAの「環境ガイドライン」をクリアできる規模、構造となるよう施設整備を行う。

駐車場対策

- ・動物公園出口南側にあるデッドスペースを駐車場（30台程度）として整備することを検討。

【来園者に喜ばれる取り組み】

- ・「人も動物もいきいき」という基本理念を維持していくために、今まで以上に来園者に満足していただける施設を目指す。
- ・具体的には、イベント実施時のアンケート結果やSNSの反応について分析を行い、これまで実施してきた様々な取り組みをさらにブラッシュアップしながら、新たな企画にも取り組んでいく。
- ・また、さらなる広報活動に積極的に取り組む。
- ・こうした取組を進めるためには、人員体制の充実、財源の確保が必要であり、現在の便益事業の見直し（※）に加え、2019年から据え置きとなっている大人入園料についても改定を検討する。

※便益事業の見直し、拡充

- ・来園者サービスの一環として、売店・レストオラン・屋台等を公益目的事業として運営。
- ・2025年4月から「オリジナルグッズ開発チーム」を設置し、飼育課からも参加して様々な意見を取り入れながら、来園者に喜ばれる商品を検討中。
- ・レストランにおけるメニューや価格の見直し、料理の提供スピードの改善を検討予定。
- ・こうした取り組みにより、収入の増加→入園者数の増加という好循環を目指す。

表1. 《中国四国内動物園の入園者数と駐車台数、入園料》

施設名	令和6年度入園者	駐車台数	駐車料金	大人料金	備考
池田動物園	165,547人	210台	¥500	¥1,500	GW中は駐車場¥1000
福山市立動物園	211,384人	700台	無料	¥520	
広島市安佐動物公園	343,215人	1200台	¥450	¥510	
周南市徳山動物園	209,461人	470台	無料	¥600	
ときわ動物園	85,791人	1240台	¥500	¥500	時間制 (¥200~¥500)
秋吉台サファリ	219,990人	1000台	無料	¥2,600	
とくしま動物園	144,298人	600台	¥310	¥600	
愛媛県立とべ動物園	413,463人	2000台	¥300	¥600	大型バス所有
わんぱーく高知	125,173人	125台	無料	無料	
のいち動物公園	189,701人	280台	無料	¥470	

年間利用者数（のいち動物公園）

単位：人

年度	有 料				無 料				合 計
	一 般	団 体	その他割引※1	年間観覧券 (有料)	18歳未満※2	長寿手帳	優待 ※3	年間観覧券 (無料)	
H28	33,122	6,224	7,202	1,676	91,624	5,577	4,082	9,946	159,453
H29	33,518	6,197	7,788	1,765	94,652	5,802	4,172	9,637	163,531
H30	43,426	6,733	8,439	1,796	92,577	5,189	4,462	9,153	171,775
R1 (H31)	54,014	6,202	10,949	2,081	97,057	6,711	4,801	9,576	191,391
R2	41,172	1,754	8,846	2,019	70,039	6,951	3,730	9,799	144,310
R3	55,867	1,967	11,952	2,380	91,520	7,270	4,423	15,507	190,886
R4	61,916	2,665	14,076	2,179	101,246	8,374	5,222	16,320	211,998
R5	63,341	4,232	14,699	2,011	91,770	8,514	6,257	15,676	206,500
R6	62,706	4,667	3,708	2,157	75,998	11,041	10,836	18,588	189,701
R7(11月末時点)	46,366	4,182	2,448	1,478	56,834	9,431	8,822	13,129	142,690

- ※1 龍馬パスポート提示者、ごめんなはり線利用者、アパマンジョージム等の他施設と連携した割引 等
- ※2 H28～R5は、学校関係の引率者及び観光特使（同行者4名まで）を含んでいる。R6から優待に計上。
- ※3 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳 等の所持者